

< 介護・医療連携推進会議における評価 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	事業所名	こぶし 24 時間ケアサービスステーション
所在地	(〒 940 - 0098) 新潟県長岡市信濃 2 - 6 - 18		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

24時間365日営業。必要な人に必要なサービスを提供し、その人の築き上げた暮らしを支えていく。
情報共有にはタブレットを使用し、多職種連携にも活用している。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 9 月 30 日	従業者等自己評価 実施人数	(17) 人 ※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	------------------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2025 年 2 月 5 日	出席人数（合計）	(29) 人 ※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	☐ 自事業所職員（ 6 人） ☐ 市町村職員（ 1 人） ☐ 地域包括支援センター職員（ 1 人） ☐ 地域住民の代表者（ 2 人） ☐ 利用者（ 1 人） ☐ 利用者の家族（ 1 人） ☐ 知見を有する者（ 14 人） ☐ その他（ 3 人）		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		(令和6年度に向けて) 前回の改善計画	(令和6年度) 実施した具体的な取組	(令和6年度) 進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		・同行訪問や事例検討会を行い、統一したケア、質の向上に努める。 ・定期的にリスクマネジメント委員会を開催し、ヒヤリハット、事故対策等の周知徹底に努め、内服事故等を未然に防ぐ。 ・災害等の BCP を見直し、素早く対応できるように訓練の実施をする。	・ミーティングにて、統一した援助の確認を行っている。 ・毎月事故・ヒヤリハット等のまとめを行い、周知し再発防止に努めている。 ・2ヶ月に1回リスクマネジメント委員会を開催し、事故防止に努めている。 ・BCP の講義、防災・災害・水害の訓練を行った。	・日頃から援助についての意見や、その方に適しているかを考え、意見として上がり、その都度検討している。 ・毎月事故・ヒヤリハットをまとめる事により事故等の件数を把握でき、事故の傾向など知る事が出来た。会議にて対策等を検討した。 ・防災訓練も定期的に行っており、知識や行動力を身につけている。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～21)	・記録方法の研修を行い、見やすさ、分かりやすさを求めスキルアップに繋げる。また、日々の申し送りを見落とさず、変化等を早期発見し対応できるようにする。 ・職員個々のアセスメント能力を高め、利用者の「その人らしい在宅生活の維持」その人の意向に沿った援助に繋げていく。 ・理念・運営方針・業務目標を意識した上で、全体ミーティングを行い、職員1人1人の意見を聞く事で、サービスの質の向上に繋げる。	・日報を作成し、日々の申し送りを確認し、早期対応に努めている。 ・記録のやり方、F-SOAIP 記録の簡素化について研修を行っている。 ・毎月のモニタリング作成時にサービス提供責任者が確認をし、助言等を行い、ケアマネに伝えている。 ・利用者の意向を聞く力についてはついてきている。意向になるべく添えるように提案・改善に努めている。 ・職員1人1人の意見を聞き、サービスの調整や、業務改善に繋げている。	・日報を作成した事により、問題点がすぐに分かり、計画作成責任者が早急に対応できるようになった。 ・F-SOAIP 記録がなかなか進んでいないが、簡潔に記録するようになった。 ・毎月のモニタリング時の他にも、ケアマネに細かく変化等を伝えている。 ・職員が一人一人、利用者の立場になり考え意見が出ている。

	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)	・多職種の意見やアドバイスを積極的に聞き、関連機関へ素早く、わかりやすい情報発信方法を見直していく。	・フェニックスネットを通じて、関係機関へ素早く情報を伝えられるように取り組んでいる。	・今後も継続し、関係機関に分かりやすく情報提供をしていく。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 28～32)	・地域への働きかけが必要。交流を図りながら、情報発信に努める。 ・まも～る通信等の広報誌の継続。	・地域の方との会話から、情報を得たり、発信したりしている。 ・センター全体で広報誌を発信している。(年4回予定) ・退院時の選択肢の一つになる様に、病院にサービス内容の説明会を行った。	・地域へ向けての情報発信が出来ていない。 ・病院に説明会は効果があったと思う。新規の依頼もあり、今後も継続をしていきたい。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 33～34)		・理念・運営方針・業務目標を意識しながら業務にあたる。 ・職員間での話し合いの機会を増やし、援助の変更、問題事案があった時に早期に対応し、援助の統一、サービスの質の向上に努める。 ・利用者一人一人に対して状態の把握、定期随時サービスの必要性を理解しサービスを提供していく。 ・フェニックスネットによる多職種、他事業所との積極的な連携と情報ツールとなる「Team」ソフトの情報共有方法の改善を引き続き図っていく。	・理念・事業所目標を常に意識しながら業務に取り組んでいる。 ・利用者に変化があった時に、早期にサービス内容の検討を行なっている。 ・ADLの変化に伴い、サービスの増減の調整を行ない、自立に繋がった人も増えた。 ・状態変化に合わせて、計画書を直し、援助を変更し対応した。 ・フェニックスネットを利用している事業所とは情報共有が出来ているが、利用していない事業所との情報共有を密にしていく必要がある。	・園の理念に沿って考える事が出来ている。 ・自立に向け、その方らしく生活を継続出来るように、状態に合わせたサービス提供が出来ていると思う。 ・フェニックスネットの連携がない事業所にも密に連絡を行う事で情報の共有は出来ていると思う。今後も継続する。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		(令和6年度) 評価結果	(令和7年度に向けて) 改善計画
1. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		・検討会の開催を定期的に行えなかったが、チームミーティング、サ責ミーティングを通し、利用者1人1人の細かなケアの確認はできた。職員一人一人の意識付けが出来、意見も出やすくなった。 ・事故、ヒヤリの傾向を知る事ができ、少しずつ件数が減っている。同じヒヤリハットが繰り返す事があり、検討していかなければならない。	・定期的な事例検討会の開催。 ・サテライト永田となり、一体的に運営する為、より統一したケア、質の向上に努める。 ・園の理念、目標を理解し、その人らしい暮らしが出来るようにサービスを提供する。 ・ヒヤリハットを活かし、事故対策を未然に防ぐ。事故後の検証をしっかり行い、同じ事故を繰り返さない。
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～21)	・F-SOAIP 記録の記録方法の勉強会が進まず、実際に使用する所まで行かなかった。 ・アセスメント力を身に付けていく。その方の援助に結び付けていく事を強化して行きたい。 ・見やすく、分かりやすく記録をする事で、見落としを無くし個々のスキルアップに繋がるようにしていきたい。	・F-SOAIP 記録の研修の実施。記録能力を身に付け、スキルアップに繋げる。 ・アセスメント力を強化する事で、利用者の自立支援、意向に沿った援助に繋げる。 ・先を見越した適切なリスク管理のために、リスクマネジメントの強化に努める。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)	・フェニックスネットを通し、連携が密に取れ、強化出来たと思う。	・在宅生活を安心して継続出来るように体調変化時などフェニックスネット等を活用し関係機関と情報共有し、プランの見直しなどをスムーズに行える様にする。 ・フェニックスネットに連携していない事業所、利用者対しても同じように情報共有ができる。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 28～32)	・地域交流は決まった行事には参加したが、新たな行事を企画するまでには至らなかった。まも～る通信や会報等を通し、情報発信をする事が出来た。 ・病院での説明会ができ、反応もあり新規の依頼に繋がった。	・福祉のサービス内容を情報発信し、地域の方に理解してもらう事で、お互い助け合える関係性を築く。 ・病院や居宅介護事業所等への説明会を継続して行い、定期随時の理解を深める。

Ⅲ. 結果評価 (評価項目 33～34)	・安心してその人らしい暮らしが出来るように、園の理念に沿って援助が出来た。 ・業務改善や利用者の援助の見直し等の意見が職員から上がっている。その意見をどう活かすのか？職員同士で意見を交換し合いながら、援助に繋げて行く事が必要。	・園の理念に沿ってその人らしい生活、築き上げた暮らしを支えられる事を常に考えながら、サービスを提供する。 ・職員一人一人の意見を吸い上げ、職員同士で考える力、気づく力を身に付ける。利用者に質の良いサービスに繋げる。 ・フェニックスネットによる多職種との連携、情報共有方法の改善を継続して行っていく。
---------------------------------	--	---

※自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します